

福祉サービス第三者評価（総括表）

①第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

②施設・事業所情報

名称： 松風園	種別：短期入所
代表者氏名：山川 宏	定員（利用人数）： 39名
所在地：茨城県つくば市松代 2-25-10	
TEL： 029-846-7115	ホームページ：https://tokyo-sola.com/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日： 平成 28 年 9 月 1 日設立	
経営法人・設置法人（法人名等）： 東京空色株式会社	
職員数	常勤職員： 15名 非常勤職員： 計 20名
専門職員	（専門職の名称） 看護師 1名
	栄養士 1名
施設・設備の概要	（居室数） 42 （設備等）リビング、風呂場、トイレ、面談室、事務所、厨房

③理念・基本方針

1. 経営理念
日本に暮らす障がいをお持ちの方々を幸せにする。
2. 行動指針
正しく、仲良く、楽しく。
3. CS 向上方針
 - ①顧客を正しく知る事
 - ②顧客の安心につながるサービスを提供する事
 - ③顧客と周辺関係者との対話を常に深化させる事
4. ES 向上方針
 - ①経営は人材育成と組織づくりにコミットする事
 - ②従業員とその家族の安心につながる仕組みを構築する事
 - ③コンプライアンス（法令遵守）を徹底する事

④施設・事業所の特徴的な取組

自立生活、地域生活むけたステップ（階段）を細かく刻み、着実にステップアップできる環境を用意しています。まずはショートステイで状況の把握と生活訓練を行い、ご利用者様や保護者様が安心してグループホーム生活を始められるように支援を行っていきます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年5月12日（契約日）～令和4年12月6日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（令和3年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

入所当初は環境の変化に対応できるように見守りや声かけを密に行うことにしている

・施設は行政や支援事業所を窓口として利用者を受け入れており、それらの外部機関が作成したアセスメントや支援計画書に沿った支援を提供することにしている。さらに、利用開始時には「つぼみ棟」において3日間生活の様子を観察してアセスメントを作成して、個別支援が提供できるように工夫している。入所当初は環境の変化に対応できるように見守りや声かけを密に行い、可能な限り不安感を取り除くよう配慮している。把握した生活歴や自宅の環境を踏まえて、入所前の生活にできる限り近い生活ができるように支援することに努めている。

各種情報を収集し、把握検討して施設としての課題を抽出している

・利用者・家族の意向などは、利用開始時の面談により把握している。職員の意見は面談や各種委員会で把握している。また、各種の委員会を設置して施設内の専門性やリスクマネジメントの強化に取り組むとともに、職員への意識の高揚を促している。施設の経営状況については、職員会議や役員会で収支や目標達成度その他情報を検証している。これら各種情報をもとに課題や各種ニーズを把握し、事業計画が円滑に推進できるようにしている。

各行政担当者へ、空き情報などを随時提供して入所支援に取り組んでいる

・短期入所の対象者は知的障害、精神障害をもつ障害者福祉サービス受給者証を有する65歳未満としている。利用にあたっては、事前に支給申請を行うことになっている。申請後に利用の申し込みを施設で受け付ける仕組みになっている。支給内容については、利用者一人ひとり異なるため、都度個別対応としている。現在の利用者は行政が決定した期間になっている。また、新規の利用者とリピート利用者合わせて、積極的な受け入れに取り組んでいる。

◇改善を求められる点

さらに質の高いサービスが提供できる体制作りを目指している

今回行った利用者家族アンケートの総合的な満足度に関する調査の結果は、回答者の80%が「大変満足」または「満足」と回答しており、大変高い満足度であった。適切な運営が定着していることがうかがえるが、新たに赴任したサービス管理責任者を中心に各種の会議や委員会などで話し合い改善に向けて取り組んでいる。また、第三者評価の自己評価においても園の課題が適切に抽出されており、いくつかのテーマでは改善のプロセスも整理されている。これらの課題に対する改善策を適宜策定し、さらなる運営力の質の向上を目指している。

個別記録の内容をさらに充実することが望まれる

日々のケア記録や個別申し送りシート、業務日報などを設けて職員間でタイムリーな情報共有が図られている。職員の出勤時には必ず日々の記録や回覧板を確認するように努めており、利用者一人ひとりの状態を把握して各種の支援を提供することをルール化している。ただし、施設では、記録類のさらなる標準化を目指している。また、ラインワークスなどを導入しているが、ICTの導入をさらに充実させることも必要とされる。ICTの積極的な導入に加え、業務の標準化への取り組みも合わせて検討することが望まれる。

各種障がいの専門知識の取得に取り組むことが望まれる

・強度障がいや重度の利用者の増加傾向があるなかで、「ステップアップ方式で着実に地域生活へ移行」をテーマに障がい特性に合わせた生活の提案をモットーとして業務を推進しているが、利用者の重度化が進みサービス内容の高度化、多様化が求められるようになり、各種障がいの専門知識の取得にも取り組む必要がある。同時に先端技術の効果的な活用も積極的に取り入れ、遣り甲斐あるルーティンワークを構築して法人・施設の目指すビジョン・目標達成に向け取り組まれない。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の第三者評価を通じて「松風園」が目指していることは、着実に具現化されつつあることが確認できております。利用者調査の結果につきましては、高い満足度をいただいております。安定したサービスを提供できていると思われまます。また、家族も一緒に過ごしてもらえるような行事などの開催を検討しましたが、コロナ収束の折には定期的開催し、家族や地域の方々との連携を更に図っていきたいと考えております。また、「改善を求められる点」につきましては、ホーム一丸となって改善に取り組み、地域や関係機関との連携を図りながらサービスの向上に努めていく所存です。

⑧評価細目の第三者評価結果（別紙）